

令和7年度 ことしの仕事



施設一体型の義務教育学校整備候補地の美幌小学校

美幌町予算説明書

「ことしの仕事」の発刊にあたって

町民の皆様には、日頃から美幌町のまちづくりに対してご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

令和5年5月に2期目の町政をお預かりし、本年5月には折り返しを迎えます。この間、様々な課題に立ち向かい、「美幌の活力を高め、次代につなげるまちづくり」の実現に向け全力を尽くしてまいりました。

令和7年度予算では、これまで以上に慎重な行財政運営を意識しながらも、町民ニーズの把握と、その必要性や事業効果を十分検証し、地域経済の活性化や住民サービスの更なる向上、重点課題への対応などを念頭におきながら予算編成を行った結果、一般会計予算は、142億円と過去最大の予算規模になったところであります。

本町においては、物価高騰、労務・資材単価の上昇等による影響など、今後更に厳しい財政状況が予想される場所ですが、町民の皆様が、安心・安全で「元気」と「活力」に満ちた美幌町で暮らし続けられるよう、町政を全力で進めてまいります。

このたび作成しました「ことしの仕事」をご覧いただき、町の1年間の予算や主な新規及び拡充する取り組み、町民の皆様からお預かりした税金などがどのように使われているかを知っていただき、「ふるさと美幌」に対する貴重なご意見をいただければ幸いです。

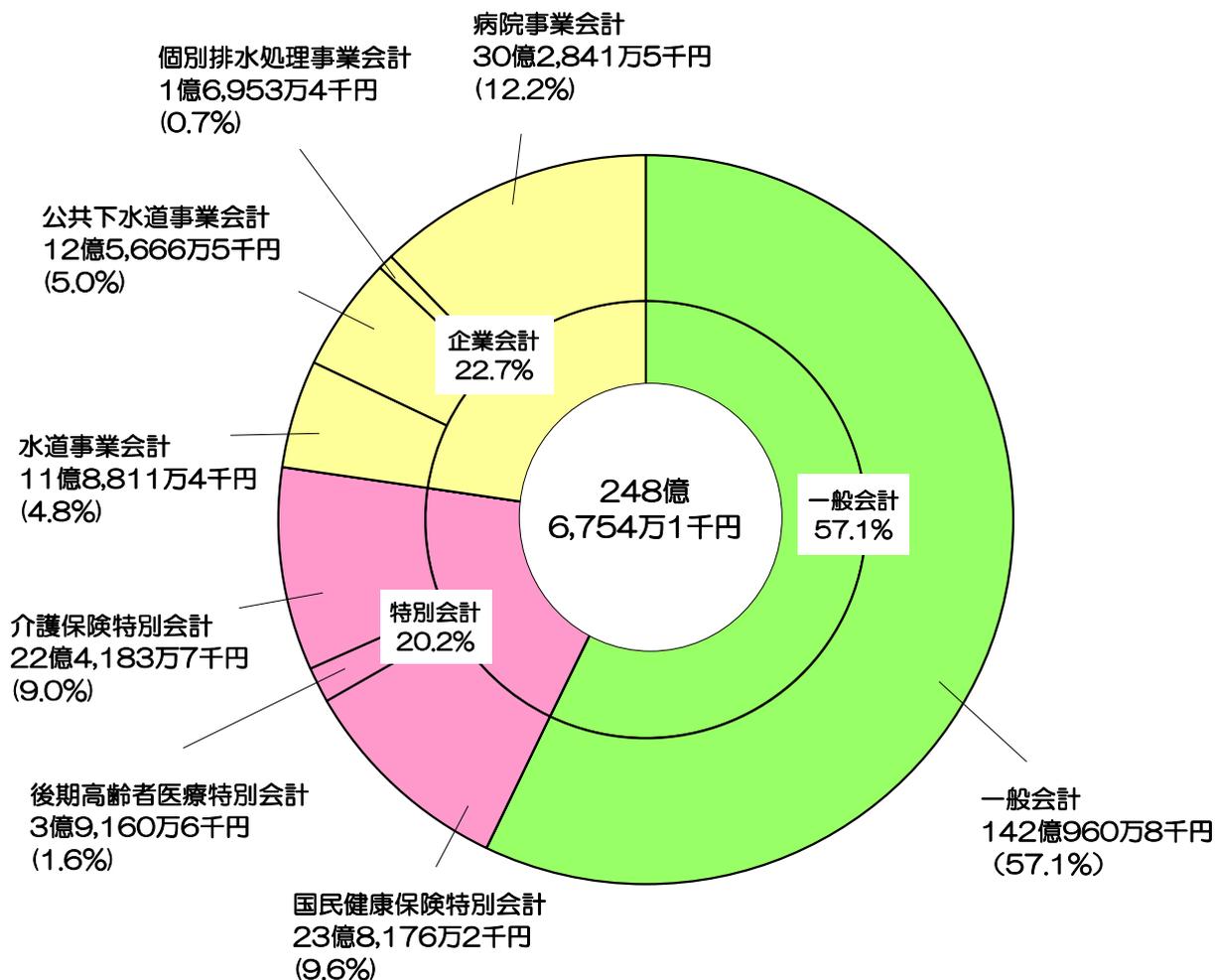
令和7年4月

美幌町長 平野 浩司

目次

令和7年度まちの予算	-----	1
一般会計の収入内訳	-----	2
一般会計の支出内訳	-----	3
まちの将来像と基本目標	-----	4
令和7年度の主な新規・拡充事業	-----	5
予算の基礎知識	-----	12

令和7年度まちの予算



一般会計

- ・福祉、道路整備、教育など基本的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計

- ・特定の事業を行うための会計で、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3つの特別会計があります。

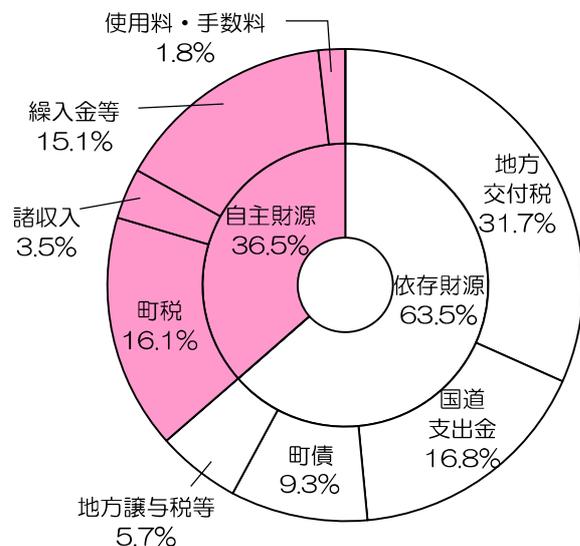
企業会計

- ・会社と同じように事業を行い収益をあげて運営する会計で、水道事業、公共下水道事業、個別排水処理事業、病院事業の4つの企業会計があります。

今年度は、町民ニーズの把握とその必要性や事業効果を十分検証し、地域経済の活性化や住民サービスの更なる向上、重点課題への対応などを念頭におきながら予算編成を行った結果、一般会計は142億円と過去最大の予算規模となりました。

一般会計の収入内訳

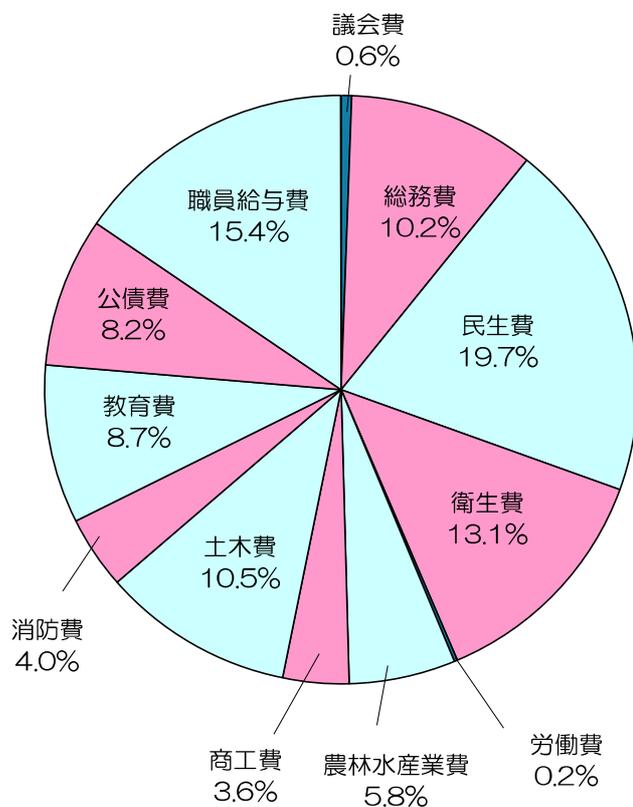
項目	説明	金額	
自主財源	町が自主的に調達（用意）できる収入のことです。	51億7,990万6千円	
町税	町民税や固定資産税など、皆さまに納めていただく税金です。	22億8,293万9千円	
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を、利用者が負担するお金です。	1億1,678万2千円	
使用料及び手数料	施設の使用料や証明書の発行手数料などです。	2億5,738万7千円	
財産収入	不要物品や土地などの財産を売り払って得るお金です。	4,421万9千円	
寄附金	町にご寄附いただいたお金です。	5億5,000万8千円	
繰入金	町の基金（貯金）から取り崩されたお金です。	14億2,768万2千円	
繰越金	前年度から繰り越したお金です。	1,000万円	
諸収入	給食費や貸付金の返還金、その他の様々なお金です。	4億9,088万9千円	
依存財源	国や北海道から交付されたり、借金をするなどして得られる収入のことです。	90億2,970万2千円	
地方譲与税	皆さまが国や北海道に納めたお金の一部が、法律や一定のルールに基づき、町に配分されるお金です。	2億272万円	
利子割交付金		100万2千円	
配当割交付金		784万4千円	
株式等譲渡所得割交付金		2,103万6千円	
法人事業税交付金		3,254万9千円	
地方消費税交付金		5億1,293万2千円	
環境性能割交付金		2,178万5千円	
国有提供施設等所在市町村助成交付金		30万円	
地方特例交付金		1,002万3千円	
地方交付税		45億円	
交通安全対策特別交付金		178万7千円	
国庫支出金		法律や一定のルールに基づき、町の特定の事業のために配分されるお金です。	14億7,851万6千円
道支出金			9億1,570万8千円
町債	国や銀行から借り入れるお金（借金）です。	13億2,350万円	
計		142億960万8千円	



収入全体では、地方交付税、国や北海道から交付される依存財源が全体の63.5%を占めており、町の予算は国の予算の影響を受けやすいといえます。安定的な財政運営のため自主財源（町税やふるさと寄附金など）の確保が重要な課題となっています。

一般会計の支出内訳

項目	説明	金額
議会費	議会運営の経費です。	8,110万1千円
総務費	全般的な管理事務、庁舎管理、戸籍や選挙などの経費です。	14億4,764万3千円
民生費	社会福祉や児童福祉などの経費です。	28億737万3千円
衛生費	健康づくりやごみ収集などの経費です。	18億5,856万円
労働費	労働者の福祉向上や就労支援の経費です。	2,418万3千円
農林水産業費	農業や林業の振興などの経費です。	8億2,381万5千円
商工費	商工業や観光の振興などの経費です。	5億984万9千円
土木費	道路や公園、公営住宅の整備などの経費です。	14億8,943万9千円
消防費	消防や救急などの経費です。	5億6,714万8千円
教育費	学校教育や社会教育などの経費です。	12億3,981万6千円
公債費	町が借り入れたお金（借金）の返済金です。	11億6,754万4千円
職員給与費	職員の給料や手当などです。	21億9,213万7千円
予備費	災害など緊急時のために用意しているお金です。	100万円
計		142億960万8千円



少子高齢社会の進展に伴う社会保障関連経費の増により、依然として、民生費の割合が大きくなっています。
また、ふるさと寄附金の増収を見込み関連経費等により総務費が伸びているほか、第IV期埋立処分場造成事業に要する経費等により衛生費も伸びており、これら3つで全体の約4割を占めています。

第6期美幌町総合計画で、美幌町の将来像を「ひとがつながる、みらいへつなげるここにしかないまち びほろ」と定めており、その実現に向けて取り組んでいくための5つの基本目標があります。

5つの基本目標

基本目標1 人を**創**り、地域力を高めるまちづくり

基本目標2 自然の美しさやくらしの安心を、
みんなで**護**りあうまちづくり

基本目標3 まちの資源や持ち味を、
活かに換えていくまちづくり

基本目標4 住みやすく、
人が**集**まる基盤をつくるまちづくり

基本目標5 夢を**育**む体験！
あたたかい人をつくるまちづくり

創

基本目標1 人を創り、 地域力を高めるまちづくり

拡充

ふるさと寄附金のさらなる増収と

継続

寄附者の拡大を目指します

本町の令和6年度寄附総額は過去最高額となる見通しであり、令和7年度は寄附総額の目標を5億5千万円と設定しました。ポータルサイト（ふるさとチョイス、さとふるなど）や町独自の特設サイトを通じた更なる情報発信を行い、これまで以上に返礼品の充実や供給体制の確立による寄付金額の向上を目指していきます。

【予 算】 2億7,386万円

- ・募集受付業務委託料 2億6,105万円
- ・特設サイト関連業務委託料 470万円
- ・カタログ作成等業務委託料 19万円
- ・その他諸経費 792万円



【担 当】

政策推進課政策統計グループ ☎ 0152-77-6529

✉ seisakug@town.bihoro.hokkaido.jp

新規

町独自の支援金制度を設立し、

U I J ターンの強力な推進を図る

労働者の働き方が多様化する近年、家庭の事情やワークライフバランスの充実等を目的に働く地域を変えることで、地方への移住・定住の促進が図られています。町内の担い手不足解消や、地元企業の活性化を図るため、オホーツク管内以外からの移住者を対象とした町独自の支援制度を設立し、「美幌町で働きたい」「都会で培った力を地元美幌町で生かしたい」という思いを持ったU I J ターン希望者の移住を強力に推進していきます。

【予 算】 150万円

- ・U I J ターン支援事業補助金 150万円



【担 当】

政策推進課政策統計グループ ☎ 0152-77-6529

✉ seisakug@town.bihoro.hokkaido.jp

創

基本目標1 人を創り、 地域力を高めるまちづくり

拡充

不足する公共交通運転手を確保するため、

継続

地域おこし協力隊を増員させる

近年、運転手不足による公共交通（バス・タクシー）の維持確保が課題となっており、令和6年度から地域おこし協力隊を2名採用し、公共交通運転手を担うと同時に地域振興を行いました。依然として運転手不足の状態が続いていることから、さらに2名を増員させ公共交通運転手確保に向けた対策を強化します。



【予算】 2,014万円

- ・求人掲載広告料 55万円
- ・地域おこし協力隊隊員経費 1,959万円

【担当】

町民活動課町民活動グループ ☎ 0152-77-6537

✉ tyouming@town.bihoro.hokkaido.jp

新規

役場での手続きのデジタル化を推進し、
コンビニ交付システムやキャッシュレス決済を導入する

住民票をはじめとした各種証明書はこれまで役場に来庁いただかなければ取得できず、必要とする方にとって大きな負担となっていましたので、マイナンバーカードを利用して全国のコンビニエンスストアで取得できるコンビニ交付システムを導入します（令和8年2月末予定）。また、役場窓口においてもこれまでどおり各種証明書を発行することもでき、発行手数料の支払いをキャッシュレス決済で行える機器を導入し（令和7年秋ごろ予定）、来庁される方などの負担軽減による住民サービスの向上を図ります。



【予算】 807万円

- ・キャッシュレス決済経費 7万円
- ・コンビニ交付システム構築経費 800万円

【担当】

総務課総務グループ ☎ 0152-77-6526

✉ soumug@town.bihoro.hokkaido.jp



基本目標2 自然の美しさや暮らしの安心を、 みんなで護りあうまちづくり

拡充

第2子の保育料完全無償化を実施し、 子育て世代の負担軽減を図ります

これまで、3歳未満の保育料は、独自の負担軽減や国の基準に上乗せした多子軽減策を実施しています。多子世帯に対する負担軽減は、第3子以降の保育料無償化を実施し、第2子は収入に応じた無償化を実施しているところですが、新たに収入にかかわらず第2子に対する保育料の無償化を実施します。すべての子どもが安心して保育を受けられ、安心して働くことができるよう子育て世代の負担軽減を図ります。

【予算】 212万円

・第2子無償化経費 212万円

【担当】

社会福祉課児童支援グループ ☎ 0152-77-6541

✉ jidoug@town.bihoro.hokkaido.jp



拡充

妊娠中の方々が安心して健診等を受けられるよう 交通費支援金を充実させます

継続

妊娠した際は、町内に産婦人科の病院がないことから町外の病院に掛からなければならず、交通費などの負担が重たくなり、健診等を受けることをためらうことがあります。町では美幌駅から北見市または網走市までの往復JR運賃を支援していましたが、通院する病院までの距離に応じた交通費の助成に拡充し、妊産婦の交通費の負担軽減を図り経済的支援に取り組みます。

【予算】 218万円

・妊婦一般健康検査等交通費支援金 218万円



【担当】

保健福祉課健康推進グループ ☎ 0152-77-6544

✉ kenkou@town.bihoro.hokkaido.jp



基本目標2 自然の美しさや暮らしの安心を、 みんなで護りあうまちづくり

新規

子どもたちの育ち、就学、就職するまで 切れ目なく一貫して見守り支えていきます

子どもたちが就学、就職するまでの一貫した支援を提供するため、0歳～5歳までのすべての未就学児を対象に、6歳から18歳までの児童生徒は支援が必要な子どもや希望者を対象に子育てサポートファイル「ハグミン」を配布します。これにより、子どもの発達などを記録し、育ちに必要な支援を適切に把握することができ、保護者、教育機関、支援機関などがファイルを共有し連携して支援していきます。子どもの未来に向けた切れ目ない一貫した見守り・支援体制を構築していきます。

【予算】 45万円

・子育てサポートファイル「ハグミン」経費 45万円



【担当】

保健福祉課健康推進グループ ☎ 0152-77-6544

✉ kenkou@town.bihoro.hokkaido.jp

継続

第Ⅳ期埋立処分場の整備に向け、 造成工事が進められています

現在の第Ⅲ期埋立処分場は令和9年3月までの埋立期間を予定しており、令和6年度から第Ⅳ期埋立処分場の造成工事と処分場内で発生する汚水を処理する施設の建設工事を開始し、令和8年10月に供用開始を目指しています。ごみは分別をすることでごみ処理場の延命化につながり、さらにはリサイクルを促進することで環境への負荷を減らすことができます。ごみの減量化に向け引き続き取り組んでいきます。

【予算】 5億9,965万円

・第Ⅳ期埋立処分場整備経費 5億9,965万円



【担当】

環境管理課環境衛生グループ ☎ 0152-77-6550

✉ eiseig@town.bihoro.hokkaido.jp

活

基本目標3 まちの資源や持ち味を、 活かに換えていくまちづくり

新規

「美幌ガストロノミー2025」を開催し、 食彩びほろの魅力を発信する

食彩びほろの魅力を多彩な洋食シェフが創作料理として披露し、本町の農産物を活用した特別な料理を通じて、食材の魅力を再認識し、食材の価値や可能性を再発見するため「美幌ガストロノミー2025」を開催します。このイベントでは、本町の食材を活用した新しい料理の提案や食材の無限の可能性を感じていただだけることを期待しています。本町の農産物への関心を高め地域経済の活性化につながることを目指していきます。

【予算】 49万円

・美幌ガストロノミー2025開催経費 49万円



【担当】

政策推進課政策統計グループ ☎ 0152-77-6529

✉ seisakug@town.bihoro.hokkaido.jp

新規

美幌製糖所の存続や再編に大きく影響する前に 作付面積の維持に向けた支援をします

本町の基幹産業は農業であり、小麦、てん菜、馬鈴薯の畑作3品を中心作物として発展してまいりましたが、近年、特にてん菜の作付面積が、国による転換奨励や肥料高騰、防除費用等の増加により減少している状況であり、今後さらに作付面積が減少した場合、美幌製糖所の存続や再編に大きく影響を受けることも予想されることから危機感をもってこれまでの状況を認識のうえ、作付面積の維持に向けてしっかりと支援していきます。

【予算】 936万円

・てん菜生産奨励事業補助金 936万円



【担当】

農林政策課農政グループ ☎ 0152-77-6546

✉ nouseig@town.bihoro.hokkaido.jp

集

基本目標4 住みやすく、 人が集まる基盤をつくるまちづくり

拡充

空き家除却工事の経費を補助し、
住民の安心で安全な住環境の確保を図ります

継続

地方の過疎化が進む中、使われていない住宅が増え続けることにより、治安の悪化や景観の損ないなどを招きます。また、老朽化により台風や地震などで倒壊、損壊すると近隣の家屋や通行人に被害を及ぼしてしまいます。そのため令和3年度から空家等除却事業補助制度を創設しておりますが、令和7年度から一般型及び新築型の補助率、補助限度額の引き上げを行うとともに新たに商業型として、空き店舗や賃貸住宅の除却についても補助対象とする区分を追加し制度拡充を図ります。

【予算】 1,000万円

- ・一般型（除却のみ） 640万円
- ・新築型（新築の建築を行う除却） 260万円
- ・商業型（店舗や賃貸物件の除却） 100万円



【担当】

政策推進課政策統計グループ ☎ 0152-77-6529

✉ seisakug@town.bihoro.hokkaido.jp

継続

公営住宅の計画的な管理や建替で、
安定した住環境の確保や利便性の向上を図る

令和5～6年度に実施しました旭団地7号棟実施設計が完了し、令和7～8年度で建設工事を実施します。今後予定されている仲町団地の建て替えに先立ち、現在入居されている方の居住先として予定しています。また、平成17年度に建設された旭団地2号棟の外壁等の改修工事も行います。住民の安心で安全に暮らせる住環境の確保を図ります。

【予算】 2億1,783万円

- ・旭団地7号棟建設工事経費 1億6,687万円
- ・旭団地外壁等改修工事 5,096万円



【担当】

建設課公営住宅グループ ☎ 0152-77-6552

✉ koujug@town.bihoro.hokkaido.jp

育

基本目標5 夢を育む体験！

あたたかい人をつくるまちづくり

新規

小中学校9年間を見通した切れ目のない教育の推進と 持続可能な教育環境を確保します

少子化による児童生徒数の減少に伴い、授業等でのグループによる学び合いや学校行事における集団形成の維持等が課題となっています。そうした課題を解決し、児童生徒への良質で効率的な教育環境を提供することを最優先と考え、小中一貫教育の推進のため施設一体型の義務教育学校の令和13年度開校を目指します。令和7年度は開校検討委員会の設立・協議により基本構想の策定を進めます。

【予算】 1,227万円

- ・義務教育学校整備基本構想策定経費 1,150万円
- ・その他諸経費 77万円

【担当】

学校教育課総務グループ ☎ 0152-77-6556

✉ ksoumug@town.bihoro.hokkaido.jp



拡充

学校内で行われている部活動の運営を

継続

地域全体で支えていきます

少子化による生徒数の減少に伴い、学校単位での部活動が困難になりつつあるため、令和6年度からサッカー部、女子バスケットボール部、野球部の3つの部活動は北中学校での拠点校方式を導入しています。そのうちサッカー部については、地域のサッカー少年団との協議や保護者との意見交換等を重ね、令和7年度より地域クラブへ移行となることから円滑な運営となるよう運営経費を含め活動を支援します。また、他の部活動においても持続可能な活動環境の整備に向けて、学校と地域との連携・協働による地域クラブ活動への移行の可能性を探り、継続して親しむことができる機会の確保に努めます。

【予算】 213万円

- ・部活動地域移行関連経費 213万円

【担当】

学校教育課学校教育グループ ☎ 0152-77-6557

✉ kyouikug@town.bihoro.hokkaido.jp



Q 「予算」って何ですか？

A 1年間の収入と支出を見積もることです。

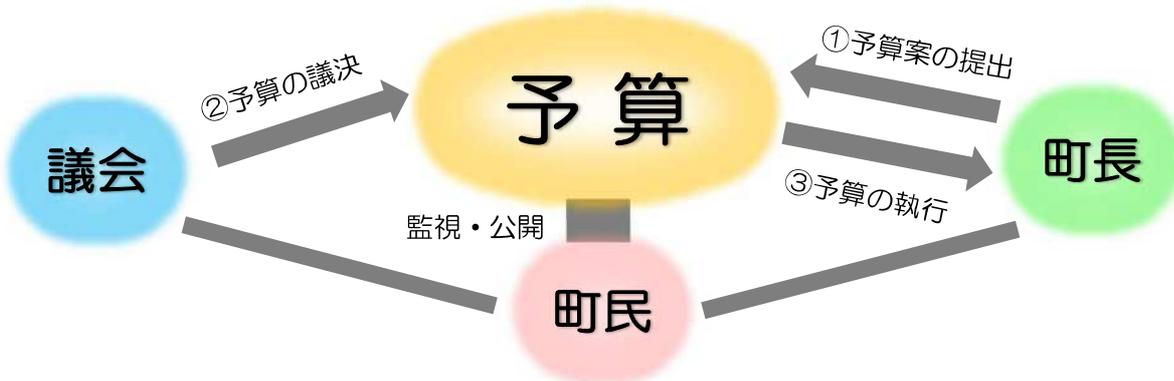
新しい年度が始まる前に、1年間（4月～3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにしてどのような事業を行うか計画し、その費用となる支出を見積もります。これらの内容をまとめたものが「予算書」です。



Q 「予算」ってどうやって決まるの？

A 町長が予算案をつくり、議会へ提出します。議会で審議し、議決されると予算が成立します。

それぞれの担当グループが、町民の皆さまのご意見やご要望をお聴きしながら、1年間の行政サービス（まちの仕事）を組み立てます。町長は、その内容を予算案としてまとめ、議会へ提出します。議会は、いろいろな面から審議し、議決により予算を決めます。



Q 一度決まった予算は変えないの？

A 必要なときに変えることもあります。これを「補正予算」といいます。

台風などの自然災害が原因で生じる急な施設の修理など、予定よりも多くの経費が必要となってしまったときには、変更する予算案を作って当初予算と同じように議会に提案しています。

Q 予算は何のために必要なの？

A 行政サービスを計画的に行うためには、
予算が必要です。

予算は、収入と支出の見積もりとその計画です。1年間の行政サービスを計画的に行うためには、予算を作成することが必要になります。また、予算の範囲内において執行しなくてはならないことから、前もって行政サービスの計画とそれに見合った予算の作成が必要になります。

Q 何を目標として予算を作るの？

A 第6期美幌町総合計画で掲げている5つの
基本目標に沿って予算を作成しています。

第6期美幌町総合計画は、平成28年度から令和8年度までの11年間を計画期間とした美幌町の最上位計画です。この計画で、まちの将来像を定めており、その実現に向けて取り組んでいくために掲げている5つの基本目標（P4参照）に沿って予算を作成しています。

Q 貯金と借金はどれくらいあるの？

A 一般会計の貯金（基金）の令和6年度末
予定残高は約51億円です。
また、借金（町債）は約105億円です。

美幌町の貯金（基金）は、一般会計の12基金と国民健康保険基金、介護保険基金を合わせた計14基金あり、それぞれの目的に沿って管理運営を行っています。内訳としては、一般会計の主要3基金（財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金）の年度末予定残高が約41億円であり、その他9基金が約10億円となっています。

また、公共施設（道路等）の整備などに必要な多額のお金を、借金（町債）により賄っているものもあります。これは、1年間の負担を小さくするだけでなく、何年にもわたり返済することで、施設を利用するすべての世代の方々に公平に負担していただくことにもつながります。

令和5年3月に策定した第3次美幌町財政運営計画に基づき、基金の適切な管理運営や町債の発行抑制に努めていきます。



ことしの仕事

～令和7年度 美幌町予算説明書～

(発行年月日) 令和7年4月
(発行) 美幌町
(お問い合わせ先) 美幌町役場 総務部財務課財務グループ
〒092-8650
網走郡美幌町字東2条北2丁目25番地
電話 0152-77-6530 (直通)
FAX 0152-72-4869
メール zaimug@town.bihoro.hokkaido.jp